

第1回「こうとう未来ミーティング」実施結果

開催日：令和6年5月29日(水曜日)
会場：江東区文化センター展示室
参加人数：34名(内、オンライン参加4名)
実施形態：参加者によるグループワーク(意見交換)



■主なご意見・ご提案等

【グループ1】

- ・たばこ問題について、消防署や警察署と一緒に区全体で対策を取り組んでほしい。おそらく火災や吸い殻のポイ捨て、受動喫煙による健康被害も減る。喫煙所を作った上で、それ以外ではたばこはやめてくれということ始めてよいので、たばこ問題が解決できたら、この区は本当に素晴らしくなっていると思う。
- ・江東区は、短時間で急激に発展したまちです。しかし、江戸の文化、古い文化も大事にし、地域振興に繋げて、もっと盛り上がるまちにしてほしい。

【グループ2】

- ・8つの政策に関して均等に意見があったが、その中でも共通していたのは、高齢化に関するものだった。
- ・防災にも関わるが、地震が起こったときにどうやって高齢者をどう支援するかという問題から話を深掘りした。
- ・一つの組織だけではなく児童館、消防署、町会、区の施設等、各組織が横断的に関わることができる立体的仮想的な組織ができるのではないかと。その組織を作るための音頭取りを区役所に担っていただきたい。
- ・区役所の建て替えに関して、意見交換会を開かれているが、そういう機会をもっと増やして、計画についてもっと区民の意見を吸い上げていただきたい。

【グループ3】

- ・8つの政策の中で一番多かったのは「子育て・教育」について。例えば公園で、こどもが遊ぶことが、うるさいという理由で制限されているが、本来公園はこどものためにあるべきではないか。こどもを優遇してくれる街になってほしい。
- ・バスに乗った時にバギーを持っていると、白い目で見られているのではないかという不安を持ったお母さん達が多いような気がする。実際に子育てをするにあたって、不安がまだ拭えない。そのため、こどもを産もうという気になれない人が多いのではないか。
- ・給食費を優遇するとか健康保険を優遇するのも大切だが、そういう経済的なものではなくて、実際の将来の不安が拭えないと子育てに踏み切れないのではないか。
- ・防災に関して、区から配布された防災備蓄用ラジオは、聴覚障害者にとって役に立たない。できれば、ほかの自治体でも配っている、文字の出る、見えるラジオだとありがたい。
- ・避難所でペットの扱いをどうするか、揉めると思うので、区である程度ルールを決めてほしい。例えば、猫アレルギーの方等への対応について考えていただきたい。
- ・区民サービスについてDXに取り組むとのことだが、先般の補欠選挙はたぶん投票率が低かったため、投票率を上げるためにもDXを活かしてほしい。
- ・深川地域の橋や水を活かしてほしい。世界には水で有名な街はベニスなどたくさんあるが、水で有名なまちとして江東区を思い浮かべるインバウンドの人はいないと思う。

【グループ4】

- ・子育て支援について、こどもを預かってくれるところがなく、働くことが大変で、生活に支障をきたしているので、一時保育サービスをもっと拡充してほしい。
- ・有償のボランティア活動があるが、お金ではなく江東区の商品券をお渡しすると、江東区の経済が潤うのではないか。
- ・都市整備、まちづくりについて、住んでいる地域でマナーの悪い人たちが目立ってきているので、防犯・防災対策の取り組みを強化してもらいたい。
- ・障害者のグループホームで働いていて、なかなか部屋や作業所を借りることができないため、空き店舗や空き家があれば活用していただきたい。
- ・グループ内で一番話題が多かったのが災害時の防災について。町会の方と一緒に、実際にどういうものが足りないかとか、こういうことが出来ればよいという意見を出しあった。
- ・こどもや女性のことを考えた避難場所を作ってもらいたい。実際に体育館や避難所で宿泊訓練をすると課題が見えてくるのではないか。

【グループ5】

- ・建設から40～50年のマンションが多く、建て替えの時期に来ている。所有権を持つ高齢者にとっては手続き等が難しく、なかなか計画が進まないのが、補助金だけではなく実際にどうやったら建て替えができるのかサポートしていただければ助かる。
- ・がん患者への助成として、ウィッグ等の補助があるそうだが、他にも外見が変わることによって生活に支障が出る方がいるので、それ以外にも助成をしていただきたい。
- ・引っ越してきた際、住民票と本籍の移動の手続きに2日掛かったため、DX含めて、素早い対応をしていただきたい。
- ・パートナーシップ宣誓制度について、もう一度俎上に載せていただきたい。
- ・空き家問題について、パトロールはだけでは根本的な解決になっていないので、対応していただきたい。
- ・運河の活用について、防災対策や観光の活用ができるのではないかと。
- ・保育園について、日曜日に預けられるところ少ないので、もうすこし増やしていただきたい。女性のキャリア形成にも繋がる。
- ・東陽町はこれから有楽町線延伸により、交通の要になっていく。イースト21から羽田空港へのバスの便を増やすことで、利便性の向上や企業の誘致になる。

【グループ6】

- ・このグループでの話題は、高齢化への対応、防災対策、区民サービスの向上などがあつたが、一番盛り上がったのが防災対策。災害時にどうやって対応をしたらよいのかというところを重点にディスカッションした。
- ・災害で一番気になるのは江東区民54万人の方がどうやって手を取り合って、お互い助け合うのか、ということ。江東区外から移住された方、もともと地元にいる方などの間に、分断があるのではないかと思う。そうした中で、災害が起こったときに、住民がどうやって手を組んでいくのか、地域防災力をどう高めていくのか。
- ・災害時の情報の受け取り方について、使っているツールが高齢者、若者にとって、アナログであったりデジタルであったりと、バラバラなので、ハイブリッドで取り入れながら、世代差を繋ぐ企画やコミュニケーションをとることなど、ぜひ区で取り組んでいただきたい。また、災害があつたとき、どういう属性に所属されている方も、区が発信する情報を必ず取れるようにしてほしい。

【オンライン参加者グループ】

- ・このグループは、参加者の中に子育て真っ最中であったり、ご家族に障害のある方がいらっしゃるだったりして、共生社会への取り組みについて高い関心と意見をいただいた。当事者の方もいらっしゃる。その中で、子育て、あるいは女性活躍共生社会への取り組みについて一番活発な意見が出た。
- ・区役所に分身ロボットが登場するっていうことに対して期待している。
- ・今までの防災グッズやパンフレットをいただいているが、いざ発災したときに使いこなせるのかどうか、障害のある人が避難できるかどうか心配。
- ・都市整備、まちづくりについて、共生社会と関連するが、これからできる新駅に期待する一方で、今、豊洲駅などは混雑していて、ベビーカーの人がエレベーターを使いづらいということもあるので、ぜひバリアフリー化を進めてほしい。
- ・子育てとも関連するが、路上喫煙が気になる。
- ・新駅ができるにあたり、縦方向の移動が期待される一方で、コミュニティバスでも高齢の方、子育て中の方も無料で使えて、区内の縦移動ができるようになるとうい。
- ・子育て中のシングルマザーであると、こどもは保育園に預けられるが、親の具合が悪くなったときに助けを求めづらい。子育て支援はこどもだけではなく、それを支える親の支援やサポートが、行政だけではなく、お互いが支え合えるとよい。